

外洋総務委員会 議事概要

2009年11月24日

文責：平井 昭光

日 時：平成21年11月24日（木） 18：30～20：30

場 所：株式会社トーヨーアサノ3F会議室

出 席：鈴木保夫委員長、植松眞 JSAF 副会長、児玉萬平 JSAF 常務理事、浅野英武委員、野田裕二委員、平井昭光委員

外洋東京湾：福田義一会長

外洋三崎：川久保史朗会長、中里英一氏

外洋湘南：稲葉文則会長、作田智恵子氏

合計11名

議事概要：

<委員会全体について>

- ・ 植松副会長より、韓国釜山で行われた I S A F ノベンバーミーティングの概要報告、児玉常務理事より、来年5月の連休に行うレースの提案があった。
- ・ 鈴木委員長より本日の検討議題案の説明。年内中に一応委員会としての提案を纏めて、その後、各加盟団体の意見を聞くこととしたい。

<艇登録について>

- ・ 更新を行う方向で意見が纏まったので、その方向を基礎として、他の問題点や論点はなにか？
- ・ データベースについては、事務局が関係者3人の協力を得て、DB化すべく動いている。できれば年内に入力を終わらせたい。DB化に要する費用は、一人当たり10万円で合計40万円程度を考えている。
- ・ 一端出来上がったDBについては、その後の毎年の更新についても、必要な費用を計上するようにしてもらいたい。
- ・ 加盟団体の保有するDBとの照合もしたい。
- ・ 過去のセール・ナンバーの再使用については、オークションにかけろべき、との意見あり。船を保有予定の人の予約を認めるか？
- ・ 3桁以下を除いて再使用を認める、といった縛り、条件についてはなくしたらどうか。
- ・ 重複セールについては、実際にはあまり多くないと思われるので、現状通りとする。
- ・ 艇登録事務手続きについて、特別加盟団体でもできるようにするか。
- ・ 現在、特別加盟団体ができるようにすることは止めている。
- ・ 特別加盟団体が安く大量に扱えるようになると問題では、という意見あり。加盟団体から特別加盟団体に会員が流れる可能性がある。
- ・ 県連について、艇登録事務手続きができるようにしたもの、実際にはなかなか登録事

務ができていないところがある。

- ・一旦、艇登録事務手続きができるようにして、その後の様子を見て、場合によっては加盟団体のみに戻すというやり方もある。
- ・ルール通り、艇登録事務手続きができるようにして、特別加盟団体の中にも JSAF 会員が増えるようにすることも大事。
- ・沖縄県連と外洋が合体したが、その後、事務局が機能していない。どのように対応するか、指針を作る（県連を指導する、他の加盟団体がカバーする、本部が直接担当するなど）。今後、具体的な方策を纏める。

<外洋特別会計について>

- ・ JSAF がいろいろな形で加盟団体をサポートすべき（特に中距離以上のレース）だが、現在の会計の状況では限界がある。外洋の活性化のために特別会計とすると良いのではないか。
- ・活動を粛々とやっていきたい。
- ・艇登録費などを原資にするという考え方もある。
- ・艇登録の増加と底辺の拡大を目標として大きく掲げて、そのためのより良い会計を考えていくべきである。
- ・新公益財団ができるため、その財団経由で寄付がなされることとなる。
- ・今後、事業毎での会計にならざるを得ないので、特別会計が必要になる。
- ・関係各位に理解してもらえるような案を考えていく。

<全国大会について>

- ・前回、前々回の委員会の議事概要を提供して、全国の加盟団体の意見を聞くこととする。
- ・1月23日（土）が新年会・理事会なので、その翌日（24日）に全国大会を開く方向で検討する。

<クラシックレースについて>

- ・レースの調整を加盟団体をお願いしている。取り敢えずその結果を待つ。
- ・ゴールデン・ウィークにインショア+ディスタンス、加えて大島レースというシリーズ・レースを組んだら良いのではないか。外洋湘南としては問題ないのではないか。ちなみに、ミドルボートは5/3, 4, 5で大島レースは5/22, 23に開催の予定。
- ・その他の各レースの日程を確認して、早急に開示するようにする。

<その他>

- ・次回は、総務委員のみで行う。
- ・次回外洋総務委員会日程は、電子メールで調整することとする。

以上